

# 自転車でもちづくり

## 自転車利用環境整備基本構想のお知らせ

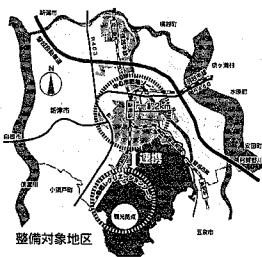
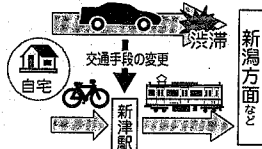
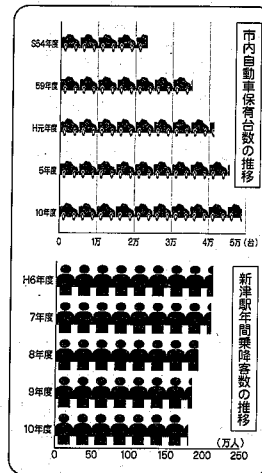
最も手軽に利用できる交通手段といえば自転車です。しかも、自転車は環境を汚しません。そんな身近でクリーンな自転車をもっと活用してみませんか？

### 自転車の時代、なぜ自転車なのか？

自転車は、手軽に使い、機動性が高いことから、以前から日常的な交通手段として多くの人に利用されています。最近では、自動車に比べて渋滞や騒音がなく、二酸化炭素排出抑制など地球環境やまち、人に優しい交通機関であることから（右枠内参照）都市内交通の手段としてもっと自転車を使おうという動きが起きています。

### 自動車に依存する市内の交通事情

左のグラフは市内の自動車の保有台数と新津駅の年間乗降客数のそれぞれ推移を表しています。これらのグラフから、自動車利用の増加と鉄道離れの傾向が見てとれます。この結果は、市内在住者の勤務先が多い新潟方面への渋滞となつて表れています。



### サイクル・アンド・ライドで問題を解決

近年、交通需要が道路整備を上回る勢いで増加し、単に道路をつくるだけでは解決できなくなつてきています。このため、道路の「利用の仕方」によって「適切な利用の誘導」によってスムーズな交通の流れを実現することが求められています。今、パーク・アンド・ライド（自動車）近隣の駅に

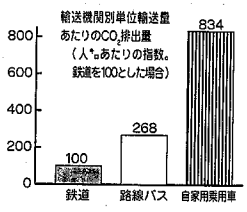
### 健康志向にも自転車がぴったり

自転車の利用促進は、通勤の交通方式の転換だけでなくレジャー分野でも生かされます。新津市美術館や興立植物園、石油の里などの観光・文化施設

### 自転車独自の「3つのやさしい」

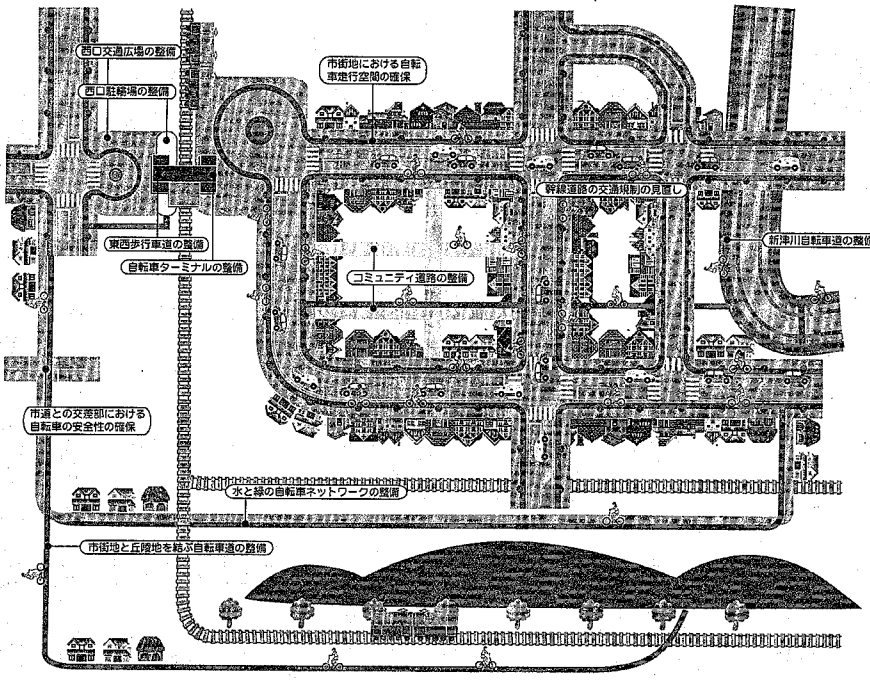
- 地球環境にやさしいね  
1日1,000台が自動車通勤を止めると、1年間で約500tの二酸化炭素を削減できます。これを森林の二酸化炭素吸収量に置き換えると約50ha分（東京ディズニーランドとほぼ同じ広さ）となります。これは地球温暖化防止にもつながりますし、自動車が減れば交通渋滞や騒音の問題も少なくなります。
- まちにやさしいね  
自動車では、まちは通り過ぎるだけになりがちですが、自転車なら周りを流れる風景の中に発見するものも多いはず。自転車はまちに活気を取り戻します。
- 人にやさしいね  
便利だからと自動車を使つてばかりだと、つい運動不足になりがちです。自転車や徒歩を組み合わせて、毎日適度な運動をすることで、健康な体づくりに一役買います。

### 鉄道も環境にやさしい



※鉄道が環境にやさしい理由は、自家用車の八分の一以下に過ぎません。

自転車利用環境整備のイメージ図…手軽に自転車を利用できる環境整備を進めています。



※これはイメージ図であり、場所などを特定するものではありません。

### 自転車を利用して「やさしいまち」を

今まで市街地では、自転車は自動車や歩行者の空間を開けずして走っていたような状況でした。今後は、自転車も快適かつ安全に走行できる空間を確保するなど、利用環境を整えていくことが大切です。

### 一緒に自転車利用を「考えてみませんか？」

市では、六月までに、この自転車利用環境整備基本構想をもとに自転車利用環境整備計画を立てます。この計画に市民の皆さんの声をはじめとする多方面の意見を盛り込んで、実りあるものとするために、自転車利用市民会議（仮称）を開催します。多くの皆さんのご参加をお待ちしています。

- とき 5月21日(日)の午後1時30分～4時30分
- ところ 本町一 番館市民ホール
- 申込み

都市整備課 都市計画係  
(電話) 24-2111 内線 579  
※会場には自転車をおいでください。当日、自転車やまちづくりをします。自転車のない人には貸し出します。

また、この計画についてのご意見・ご感想もお待ちしております。都市整備課都市計画係 (電話) 956-8601 新津市役所へお送りください。

自転車はルールを守って乗りましょう

無灯火運転は大変危険です。暗くなつたら、早めにライトを点灯しましょう。交差点で自動車と同じように右折することは危険です。歩行者と同様に横断しましょう(自転車専用レーンを除く)。

- コミュニティ道路の整備…中心市街地に自動車と共有型のコミュニティ道路を作り、自転車走行空間を確保します。
- 自転車走行性の向上…自転車歩行者専用道路において、市道などとの道路交差点にハンブ（凸凹）などで注意を促すものを設置するなどして、安全性の向上を図ります。
- 河川空間の活用…川沿いの空間を活用して自転車道を整備します。
- サイクリングロードの整備…中心市街地と自然レクリエーションゾーンを結び、高まるレジャー志向に対応します。
- 自転車利用のソフト面の整備…駅などの場所での自転車や雨具のレンタル(無料)や、自転車を安全に利用できるようにマナーの指導やPRをするなど、運営面でも自転車を使いやすい環境づくりを検討します。